

市町村名		恩納村									
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	1-① 観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-エ						
	担当部課名	村民課		事業実施(予定)年度	平成24年～令和3年度	観光客の受入体制の整備					
				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)						
事業内容		外来種のタイワンハブやタイワンスジオが、観光客の多く訪れる真栄田岬や国頭方西海道(歴史の道)周辺で散策者への咬傷被害が予測されるため、その周辺を重点区域とし積極的に駆除する。									
効果発現年度		<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)									
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )									
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度	
		(a) 当初予算額	4,877	5,865	5,858	5,820	5,930				
	(b) 予算現額	4,902	5,662	5,683	5,575	5,799					
	(c) 増減額(b-a)	25	▲203	▲175	▲245	▲131					
	(d) 繰越額	—	—	—	—	—					
	A. 計(b+d)	4,902	5,662	5,683	5,575	5,799					
	B. 執行済額	4,902	5,617	5,385	5,280	5,385					
	うち交付金充当額	3,921	4,494	4,308	4,224	4,308					
	次年度繰越額	0	0	0	0	0					
	執行率(%) (B/A)	100.0%	99.2%	94.8%	94.7%	92.9%					
予算の状況の説明		不用により131千円の予算減、ハブ収入売上(交付対象外経費)が388千円となった。 予算現額と執行済額の差額が414千円あるものの当初計画していた事業内容はすべて実施しており、活動目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。									
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況								
			H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		
	ハブ生息地へのハブ捕獲器設置数	目標	( 400箇所 )	( 400箇所 )	( 400箇所 )	( 400箇所 )					
		実績	450箇所	450箇所	450箇所	450箇所					
		目標	( )	( )	( )	( )					
	実績										
達成状況説明	・観光地周辺を中心に、村内南部のタイワンハブやタイワンスジオの生息地にハブトラップ(罟)を設置して捕獲した。										
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)				
	ハブ捕獲数	目標	( )	( 150匹 )	( 150匹 )	( )	( )				
		実績		212匹	193匹						
	捕獲器設置周辺における咬傷被害件数	目標	( )	( )	( )	( 0件 )	( )				
		実績				0件					
進捗状況説明	捕獲器設置周辺における咬傷被害件数は0件であり目標を達成することができた。また、ハブ捕獲器の入口(ロート)の改良と捕獲数増加傾向地区への捕獲器設置数の増加により、平成29年度より91匹多い284匹捕獲できた。										

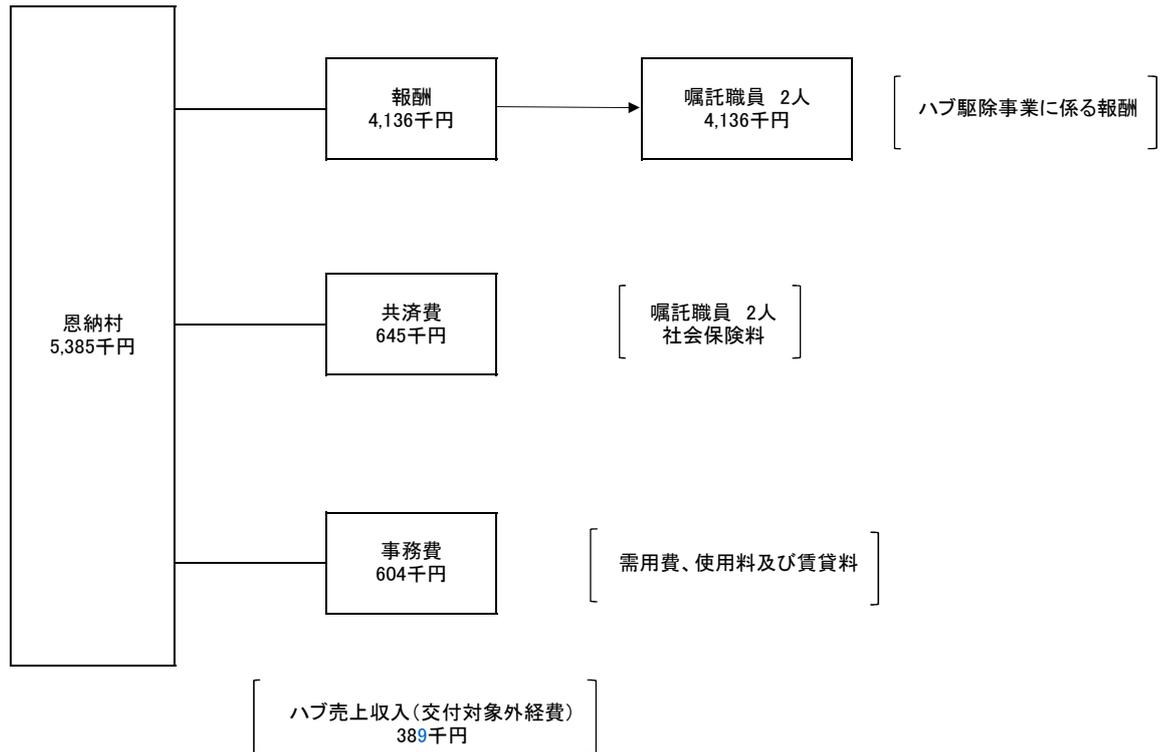
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハブ捕獲器の入口(ロード)の改良、捕獲数増加地域へのハブ罠設置数を増やしたことで284匹のタイワンハブを捕獲した。</li> <li>・設置場所によって捕獲数にばらつきがあるほか、今まで確認されていなかった地域での目撃情報があり、生息地の拡大が予想される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハブ捕獲数の増加が見られるため、今後もハブ捕獲器の入口(ロード)の改良を行っていく必要がある。</li> <li>・生息地域の拡大が予想されるため、新たな地域へ捕獲器を設置し、さらなる生息地拡大を防止する必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・タイワンハブ捕獲数は目標捕獲数を達成しているため、引き続き駆除事業を継続的に実施する。
- ・ハブ捕獲器の入口(ロード)の改良を引き続き行い、令和2年度までに残りのすべての捕獲器の改良を終える。
- ・ハブ生息地と非生息地の境界であると予想される仲泊地域と前兼久地域に捕獲器を増設し、生息区域の調査および防除を行う。
- ・目撃情報のある仲泊土地改良区への捕獲器を設置をする。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
5,774	5,385	4,308	1,077	389



資金の流 れ、費 目、 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○嘱託職員の採用方法について、村の規定に準じ採用した。また、特殊事業のため経験者を採用した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○費用については、見積入札や村の規定に準じているため適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については事業目的の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		恩納村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②		恩納村観光誘客・おもてなし推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
	担当部課名	工商観光課		事業実施(予定)年度		平成24～令和3年度	観光客の受入体制の整備
事業内容	観光誘客を図るため、プロモーション活動やイベントを行うとともに、観光客の利便性を確保するため、文化情報センターへ観光案内人の配置を行う。また、村民のおもてなしの心を啓蒙する冊子を作成する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a) 当初予算額	11,319	11,418	15,989	52,090	57,198
	(b) 予算現額	7,004	11,657	12,184	52,090	31,524	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 4,315	239	▲ 3,805	0	▲ 25,674	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	7,004	11,657	12,184	52,090	31,524	
	B. 執行済額	7,004	11,449	12,181	49,679	30,764	
	うち交付金充当額	5,603	9,160	9,743	39,743	24,611	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	98.2%	100.0%	95.4%	97.6%	
予算の状況の説明		万座毛周辺活性化施設整備事業への予算措置のため、事業を見直し、25,674千円減額した。見直し後の事業は全て実施することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	観光誘客プロモーションの実施	目標	(    )	(    )	( 2回実施 )	( 1回実施 )	
		実績			2回実施	1回実施	
	イベントの開催	目標	( 花火大会の開催 )	( 花火大会の開催 )	( 2回実施 )	( 花火大会の開催 )	
		実績	花火大会の開催	花火大会の開催	2回実施	花火大会の開催	
	情報媒体の整備・作成	目標	(    )	(    )	( 6万部作成 )	(    )	
		実績			7万部作成実施		
	観光案内人の配置	目標	( 2人 )	( 案内スタッフ配置の支援 )	( 実施 )	( 実施 )	
		実績	2人	案内スタッフ配置の支援の実施	実施	実施	
村民のおもてなしの心の啓蒙	目標	(    )	(    )	(    )	( 冊子の作成・配付 )		
	実績				冊子の作成・配付		
達成状況説明		観光誘客プロモーションは、おんな村観光物産展を東京都池袋サンシャインシティで行い、村内から5社が出展した。村産品販売やミス恩納ナビーによる観光PR、恩納村青年団等による芸能を披露、会場の大型オーロラビジョンで本村のプロモーション動画を放映した。美ら海花火大会は台風の影響で延期となり、延期となった日もステージイベントは開催できたが、花火は強風のため打上げができず、花火のみ別日程で打ち上げた。観光案内人の配置は恩納村文化情報センター観光情報フロアに2人配置した。村民のおもてなしの心の啓蒙は「恩納村おもてなし観光ハンドブック」を作成し、村内全世帯及び小中学校(小学3年生以上)へ配付した。リゾートウエディング誘客強化事業は事業見直しで見送った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	宿泊客数	目標	(    )	(    )	( 256万人 )	( 276万人 )	(    )
		実績			286万人	284万人	
	プロモーション活動の実施	目標	(    )	(    )	( 2回 )	(    )	(    )
		実績			2回		
	・H27～29年度: イベントの開催 ・H30年度: イベント来場者数	目標	(    )	( 1回 )	( 2回 )	( 15,000人 )	(    )
		実績		1回	2回	10,000人	
	情報媒体の整備・作成	目標	(    )	(    )	( 60,000部 )	(    )	(    )
		実績			70,000部		
	観光案内所の利用により村内観光の利便性が確保されたかについて利用者を対象としたアンケートを実施。アンケート結果を含め、本事業のあり方を検証する。	目標	(    )	(    )	(    )	( 80% )	(    )
実績					88%		

進捗状況説明

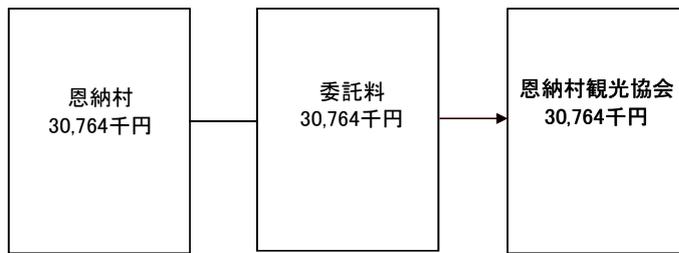
おんな村観光物産展では、村産品の周知や本村の認知度向上を図ることができた。美ら海花火大会は強風のため、イベント同日に花火を打ち上げることができず、目標来場者数を下回った。観光案内所の利用による観光客の利便性の確保は、情報量や案内人による細やかな案内で目標を達成した。

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おんな村観光物産展でのアンケートで「恩納村へ行ったことがある62%(前年56%)で8ポイント上昇した。2回以上の複数回行ったことがあるの回答合計が20%あり、昨年より6ポイント上昇した。恩納村に泊まったことがある38%(前年31%)で7ポイント上昇した。</li> <li>・美ら海花火大会のアンケートでは、出演者評価とても良い・良いが84%、飲食評価とても良い・良いが53%であった。買い物・食事単価平均3,410円(前年1,787円)と1,623円上昇した。また、屋台が少ない、花火が上がらず残念だったが、楽しかった、毎年楽しみにしているという意見が多数あった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おんな村観光物産展では、恩納村へ行ったことがある、複数回行ったことがある、泊まったことがあるが上昇してきており、PRの効果が表れている。</li> <li>・美ら海花火大会は飲食ブースの増強が必要であるが、買い物・食事単価が上昇しており、飲食等の内容は良かったと思われる。</li> </ul>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・おんな村観光物産展ではフードメニューの開発等を行い、来場者の増加を目指すとともに、来場者とのふれあいを大切に、本村へのリピーターを獲得していく。</li> <li>・美ら海花火大会は主会場変更の検討や飲食ブースの増強を図って来場者の満足度を高めるとともに、打上花火も近距離からの打ち上げで迫力のある花火大会を実施する。</li> </ul>		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
32,064	30,764	24,611	6,153	1,300



- ・観光誘客人の配置(1人)
- ・観光案内人の配置(2人)
- ・恩納村おもてなし観光ハンドブックの作成・配付
- ・イベント事業(美ら海花火大会)
- ・観光プロモーション事業(おんな村観光物産展)

ほか、恩納村観光協会負担分(交付対象外経費)1,300千円

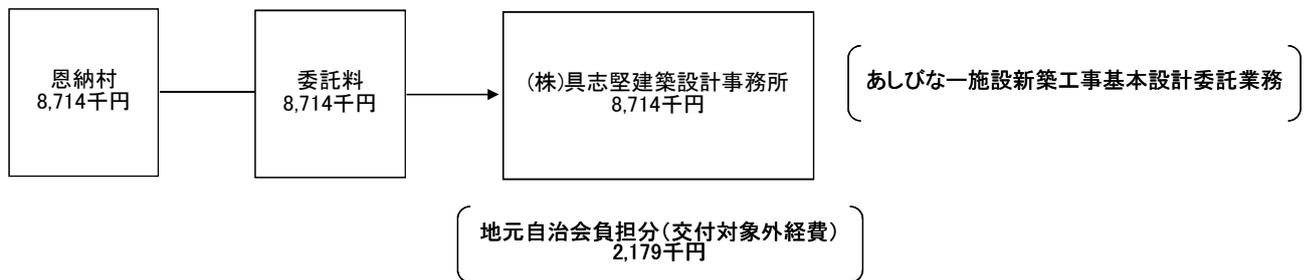
資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者は、本村の観光を推進することに特化した唯一の事業者となっており、支出先の選定方法は妥当であると考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目・用途については精算の際に検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		恩納村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦	あしびなー施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
担当部課名	企画課	事業実施(予定)年度	平成29～令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	地域の伝統芸能の保存継承及び観光誘客を図るため、観光交流施設を整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	2,678	10,912			
	(b)予算現額	2,678	10,912				
	(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
	(d)繰越額	0	0				
	A.計(b+d)	2,678	10,912	0	0	0	
	B.執行済額	2,397	8,714				
	うち交付金充当額	1,917	6,971				
	次年度繰越額	-	-				
	執行率(%) (B/A)	89.5%	79.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	不用額2,198千円は入札残によるものであるが、当初計画どおり建築基本設計を完了した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	建築基本設計の実施	目標	( )	( 設計書の作成 )	( )	( )	
		実績		設計の完了			
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	地元自治会と施設機能や居室の配置等について意見交換を行い、設計業務に反映させ設計書を作成した。活動目標を追加し建築実施設計を実施する予定だったが、地元との調整に日数を要したため基本設計のみの実施となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R3年度)	
	基本設計の完了	目標	( )	( )	( 設計完了 )	( )	( )
		実績			完了		
	【R3成果目標】施設の年間利用者 1,680人以上	目標					( 1,680人以上 )
進捗状況説明	平成29年度に策定した基本構想に基づき、建築基本設計の設計書を作成した。令和元年度に建築工事を実施する予定だったが、分筆登記業務追加による業務量変更により建築実施設計を実施することができなかったため、工事の着手が1年遅れることとなった。そのため、当初より1年遅れの令和3年度の施設供用開始に向けて着実な事業実施に取り組むとともに、令和2年度の成果目標については、効果発現の時期を令和3年度に延長する必要がある。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・平成30年度に建築基本設計に引き続き実施設計を実施し、令和元年度に建築工事を実施する予定であったが、地元自治会と施設機能や居室の配置、用地境界等の調整に時間を要したため、建築基本設計のみの実施となった。</p>	<p>・完成までのスケジュールが1年遅れることとなったため、これ以上の遅れがないよう実施設計の実施に着実に取り組むとともに、取得予定地の地権者と綿密に調整し、年度内取得に向けて取り組む必要がある。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>・作成した基本設計をもとに、進捗管理を適正に行いながら実施設計書の作成に取り組む。          ・取得予定地の確実な取得に向けて、地元自治会を交えて地権者との調整を行う。</p>		

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,893	8,714	6,971	1,743	2,179



資金の流れ、費目、 点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○入札残により不用額が生じたものの、事業完了に必要な予算としては適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である地元自治会は総事業費の2割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で精査しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	恩納村
------	-----

**平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	2-①	恩納通信所跡地活用基盤整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-イ
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成28~令和2年度	駐留軍用地跡地の計画的な整備
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-8

**事業内容** 恩納通信所跡地において跡地の活用促進を図るべく、同跡地周辺区域について、跡地利用計画の推進に向けて基盤整備を実施する。

**効果発現年度**  当年度  後年度(令和2年度)

**実施方法**  直接実施  委託  補助  負担  その他 ( )

予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	R1年度
		(a) 当初予算額	68,372	256,332	—	235,970
(b) 予算現額	62,340	178,605	—	205,902		
(c) 増減額(b-a)	▲ 6,032	▲ 77,727	—	▲ 30,068		
(d) 繰越額	—	—	29,125	—		
A. 計(b+d)	62,340	178,605	29,125	205,902		
B. 執行済額	61,927	149,480	27,047	205,902		
うち交付金充当額	49,541	119,584	21,637	164,721		
次年度繰越額	—	29,125	—			
執行率(%) (B/A)	99.3%	83.7%	92.9%	100.0%		
予算の状況の説明	当初は未執行分の予算にて勢高排水路工事をもう1件発注する予定であったが、別途補助事業にて隣接して整備を進めている道路整備工事との競合に伴い勢高排水路工事(別途発注分1件)の発注を見送ったことにより執行額が減となり、3月補正で30,068千円を減額した。					

活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況			
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
用地取得のための調査業務	目標	( 調査業務の実施 )	( )	( )	( )
	実績	調査業務の完了			
住民説明会の開催(1回)	目標	( 1回 )	( )	( )	( )
	実績	1回			
実施設計の実施	目標	( 実施設計実施 )	( )	( )	( )
	実績	実施設計完了			
・用地取得及びこれに伴う損失の補償等	目標	( )	( 用地取得及び損失の補償等実施 )	( )	( )
	実績		用地取得及び損失の補償等完了		
・排水路河口部の排水路整備工事の実施	目標	( )	( )	( 実施 )	( )
	実績			実施	
達成状況説明	地元住民への説明会を開催し、地元の理解と協力得たうえで予定どおり工事に着手することができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(R2年度)
			用地取得のための調査業務	目標	( )	( 調査業務の実施 )
	実績		調査業務の完了			
住民説明会の開催(1回)	目標	( )	( 1回 )	( )	( )	( )
	実績		1回			
実施設計の実施	目標	( )	( 実施設計完成 )	( )	( )	( )
	実績		実施設計完成			
・用地取得及びこれに伴う損失の補償等の完了	目標	( )	( )	( 用地取得及び損失の補償等実施 )	( )	( )
	実績			用地取得及び損失の補償等完了		
・排水路河口部(240m)の完成	目標	( )	( )	( )	( 240m )	( )
	実績				242m	
【R2成果目標】 台風時等の被害件数(排水路の氾濫):0件	目標					( 0件 )

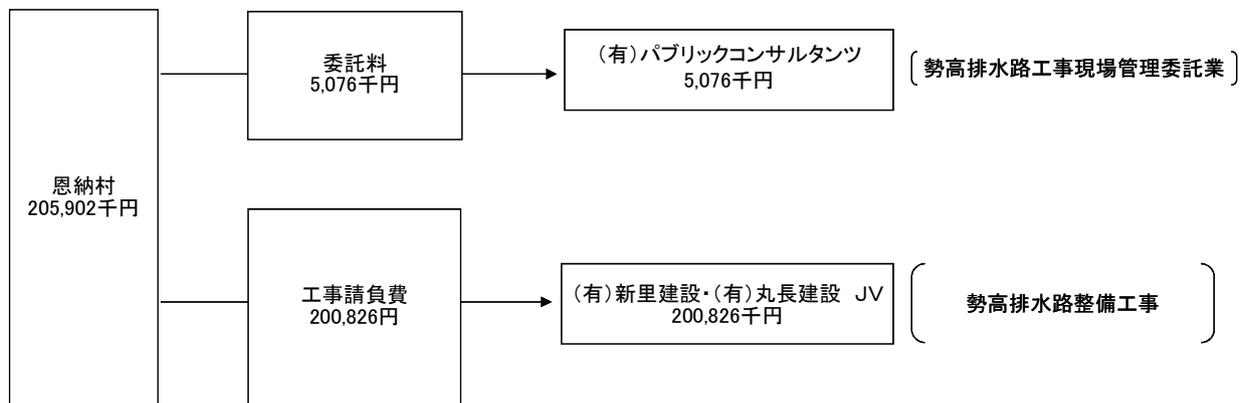
進捗状況説明	工事施工中に2回の台風に見舞われ台風被害による工期遅延も懸念されたが、道路への越流及び浸水被害はなく、予定どおり期限内に完成することができた。
--------	---

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	排水路改修工事は常時、干満の影響を受け施工範囲を5箇所に分けて大型土のうで締切り、ポンプにて施工範囲内の排水を行いながら施工を行うが、台風通過時及び豪雨時はポンプによる強制排水が間に合わないため作業を中断せざる得ず工期内完成が困難となる。	排水路改修工事を円滑に進めていくには、工事を早期に発注し、気象情報を常時把握して悪天候時は休日とし、晴天時には工事を進捗させていくなどの適正な工程管理が重要となる。

今後の取り組み方針
工事を進めながら、当初積算時の仮設工、大型土のう締切及び水替工のポンプ数量や規格が適正であったかを検証し、現場にあった施工状況を判断して、令和元年度以降の工事の発注に反映させ、工期内完成に着実に取り組んで行く。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
205,902	205,902	164,721	41,181	0



資金の流れ、点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業務委託者及び工事請負者は指名競争入札を行い選定しており妥当であったと考える。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○隣接して行っている道路整備工事(別途補助事業)との競合により当初予算額に30,068千円の減額が生じた、今後詳細な調整による計画や積算により適正な予算計上に努める。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要であったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		恩納村						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-① 恩納村国際交流人材育成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-4-(1)-ア			
	国際ネットワークの形成と多様な交流の促進							
担当部課名	企画課		事業実施(予定)年度	平成29~30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-7	
事業内容	村出身者の海外移住に関する歴史の伝承や村出身者の子弟(ウナンチュ)との絆を深めるとともに、国際交流の促進、諸外国との懸け橋となる人材を育成するため、村出身者が移住した各国に対し研修生の派遣及び村出身者の子弟等の受入を実施する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
		(a) 当初予算額	4,237	4,863				
	(b) 予算現額	3,614	3,397					
	(c) 増減額(b-a)	▲ 623	▲ 1,466					
	(d) 繰越額	-	-					
	A. 計(b+d)	3,614	3,397					
	B. 執行済額	3,059	3,184					
	うち交付金充当額	2,447	2,547					
	次年度繰越額	0	0					
	執行率(%) (B/A)	84.6%	93.7%					
予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受入事業の文化体験にかかる日数の減や旅費等の精査により、3月補正にて1,466千円を減額した。</li> <li>・また不用額213千円については印刷製本費の入札残や一部経費を交付対象外経費としたこと等によるものである。</li> </ul>							
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	派遣人数	目標	( 2名 )	( 2名 )	(      )	(      )		
		実績	2名	2名				
	受入人数	目標	( 2名 )	( 2名 )	(      )	(      )		
		実績	2名	2名				
	研修報告会の開催	目標	( 各1回 )	(      )	(      )	(      )		
実績		合同1回						
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣事業は2名の派遣枠に対して2名の応募があった。検討委員会で協議し2名の派遣を決定した。</li> <li>・受入事業は2名の受入枠に対して2名の応募があった。申請書類や応募者親戚の受入理解を把握し2名を決定した。</li> </ul>							
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	受け入れた研修生が、沖縄の文化や歴史により興味を持ったかについてのアンケートを実施:80%以上 アンケート結果を含め、本事業のあり方について検証する。	目標	(      )	( 100% )	( 80%以上 )	(      )	(      )	
		実績		100%	100%			
	派遣した研修生が、海外の子弟と交流することによって派遣先の文化や歴史に興味を持ったかについてのアンケートを実施:80%以上 アンケート結果を含め、本事業のあり方について検証する。	目標	(      )	( 100% )	( 80%以上 )	(      )	(      )	
		実績		100%	100%			
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受入事業、派遣事業ともに研修終了後にアンケートを実施した。</li> <li>・受入事業については移住国と沖縄の文化の違いや、沖縄で学んだ歴史・文化について満足だったとの回答が得られた、また帰国してからも村人会等の機関で積極的に活動していきたいとの回答が得られた。</li> <li>・派遣事業については実際に移住国へ行くことでウチナーンチュの誇りを再認識し、移住国のウチナーンチュのアイデンティティを強く感じることができ、沖縄の文化や歴史について改めて考えるいい機会となった、研修後も国際交流には積極的に関わっていきたいとの回答が得られた。</li> </ul>							

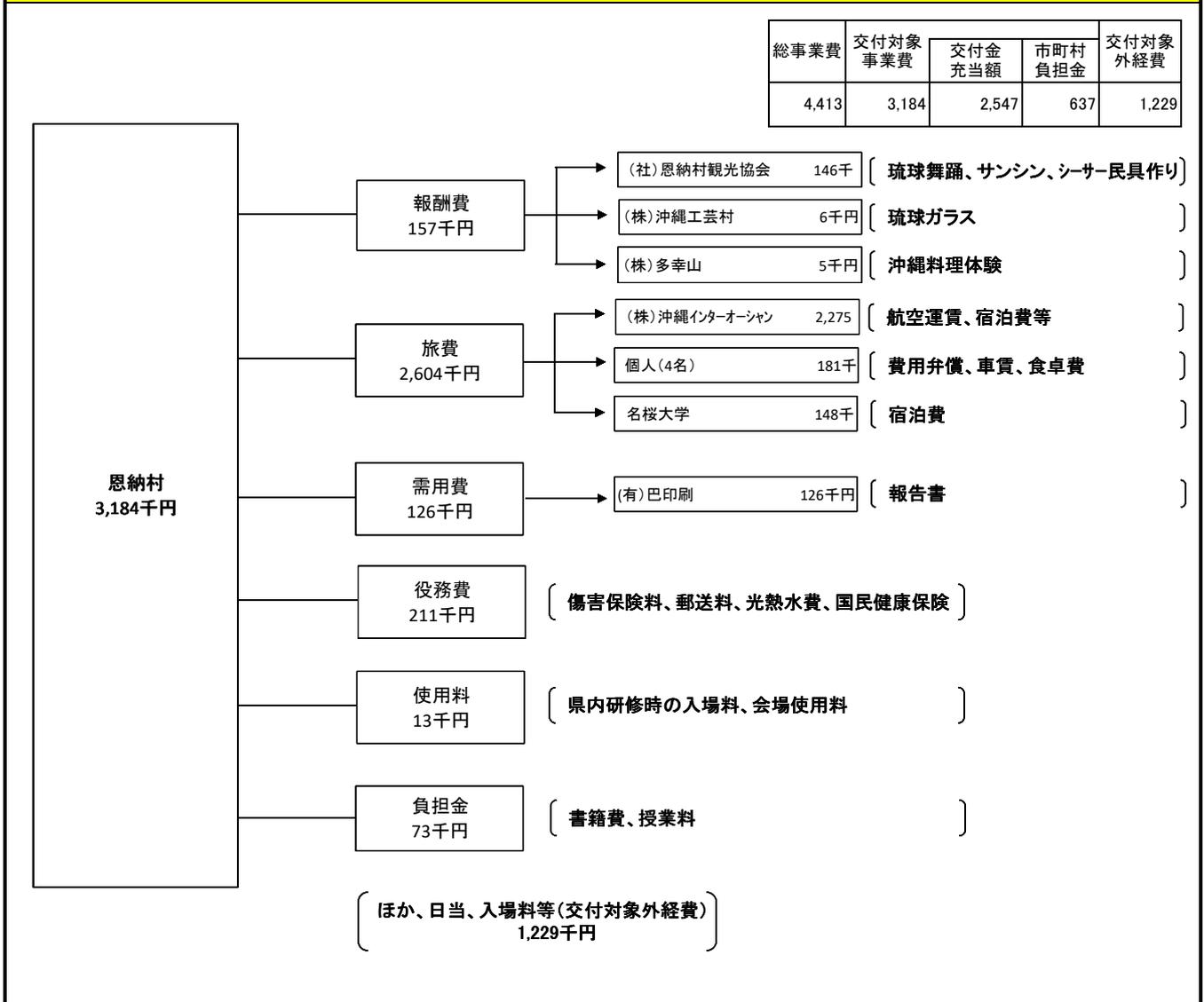
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(受入事業) 恩納村から海外へ移住した村出身者子弟たちが言語の問題と研修期間の問題、身元引受人の問題でプログラムに応募したくてもできない状況のため、プログラムの見直し等が課題となっている。	(受入事業) 海外移住の歴史を持つ他市町村と調整して受入事業を同時期に行い、合同の研修プログラムや、地元小学生との交流機会を設けたことで、受け入れた研修生の満足度が高められたため、引き続き受入プログラムの充実を図るとともに、身元引受人が県内にいないことや、2世・3世になり日本語が話せなくなってきている等の問題となっている部分に関しては基準の緩和などを検討しておく必要がある。
	(派遣事業) 村出身者の少ない地域では毎年同じ家庭でホームステイを行うため、当該家庭への負担になると移住国村人会より申出があったのでホテル泊で対応した。これからも受入家庭の負担が減るような対応が必要とされる。	(派遣事業) 新たなホームステイ先を確立することで、各家庭の負担を軽減し、沢山の村出身者との交流を持ち、村民と村出身者子弟等との新たなネットワークを形成し、移住国の歴史の継承を図る必要がある。

**今後の取り組み方針**

(受入事業)  
恩納村民及び親戚との交流をさらに深めることができるように、受入期間中に村内小中学校での交流や村イベントへの積極的参加を行うなどのプログラム・スケジュールを考えるとともに、海外へ移住した村出身者子弟たちがより参加しやすい事業へとしていく。

(派遣事業)  
引き続き各国の村出身者宅にホームステイの協力を依頼するとともに、受入事業の過去の研修生と連携を図り、研修生宅等での協力を依頼し、新たなホームステイ先を確立する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支払先は、受益者及び事業目的に即した団体である。報告書作成については、少額であったため随意契約としたが、三社見積もりで選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事務料の精算や日当等を交付対象外にしたことにより213千円の不用額が生じたため、今後詳細な内訳による見積りや積算により適正な予算計上に努める。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担について、対象経費としてそぐわない経費は除いているため妥当であったといえる。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については精査し、目的に即し、必要なものに限定されていると判断した。

市町村名	恩納村						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	特別支援教育支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ		
担当部課名	恩納村教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成29~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進		
事業内容	恩納村立幼小中学校に在籍する何らかの支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	29,648	54,355			
		(b) 予算現額	25,566	45,142			
		(c) 増減額(b-a)	▲ 4,082	▲ 9,213	0	0	0
		(d) 繰越額	—	—			
		A. 計(b+d)	25,566	45,142	0	0	0
	B. 執行済額		25,503	37,068			
	うち交付金充当額		20,402	29,654			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		99.8%	82.1%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		・8月分と3月分の報酬及び共済費について交付対象外経費としたことによる執行率の低下。 ・欠員期間、勤務日数及び交通費の変動により、9,213千円減額となった。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	特別支援員配置数 ・小学校 8人 ・中学校 4人	目標	( 12人 )	( )	( )	( )	
		実績	12人				
	特別支援員配置数 ・幼稚園 4人 ・小学校 12人 ・中学校 6人	目標	( )	( 幼稚園 4人 小学校 12人 中学校 6人 )	( )	( )	
実績			幼稚園 3人 小学校 14人 中学校 6人				
達成状況説明	・前年度より増員したことできめ細かな支援が行われ、学習面はもとより児童生徒の生活面での改善が図られた。 ・幼稚園は特別支援教育支援員の目標配置人数を達成できなかったものの、小学校は中途退職者の補充することができたため、全体としてほぼ予定数どおりの配置ができた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H30成果目標(指標)		基準値(H29年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	学校評価における、特別支援教育に関する項目について、「学校は、特別な支援が必要な児童生徒に対し適切な対応ができていますか」で、評価3以上(4段階評価)が93%以上を目指す。	目標	( 93%以上 )	( 93%以上 )	( )	( )	( )
		実績		91.5%			
	特別支援員の対応について、保護者等を対象にアンケートを実施：学校生活や学習上の困難の改善が図られた等の肯定的な回答80%以上アンケート結果を含め、本事業のあり方について検証する。	目標	( )	( )	( 80%以上 )	( )	( )
		実績			92.8%		
進捗状況説明	特別支援教育支援員を増員した結果、前年度より高い評価を受けることができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・慢性的な人材不足により、特別支援教育支援員の配置ができない期間があった。</p>	<p>・教員免許保持者に限らず、学習支援や子育て等の経験がある者を積極的に採用する。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・ホームページへの掲載やハローワークへの求人登録のみならず、行政部局と連携して特別支援教育支援員採用への応募状況の共有を行うことにより、人材確保に取り組む。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
37,068	37,068	29,654	7,414	0
<pre> graph LR     A[恩納村 37,068 千円] --&gt; B[報酬 32,135千円]     A --&gt; C[共済費 4,933千円]     B --&gt; D["報酬(交通費含む) 支援員(23人) 32,135千円"]     C --&gt; E["社会保険料及び雇用保険料 支援員(23人) 4,933千円"]     D --- F["幼稚園 3人 小学校 14人 中学校 6人"]     E --- G["幼稚園 3人 小学校 14人 中学校 6人"] </pre>				

資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員は「恩納村特別支援教育支援員配置要綱」「恩納村嘱託職員の任用等に関する規則」に基づいた支援員への支出であり妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額が生じたが欠員がなければ予算規模は妥当であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○村条例に基づいた積算および出勤簿管理により支出しているため適正であると判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	